

(10) 大内宿南一里塚

会津城下「大町札の辻」から六里の位置にあたる一里塚です。これより今市宿までは約二四里、江戸までは約五六里の道程となります。

本地の一里塚は街道北側だけとなっていますが、「対」であった可能性は大であると言えます。

(11) 沼山石畳

下野街道の中で石畳が確認されている箇所は、この沼山坂及び三郡境の塚から約二〇〇m城下側の平場部分で確認されています。この沼山坂の石畳は、下側約二七mと上側四四mに別れ、下側と上側ではそれぞれに異なった配石構造を見ることができません。

下側の石の大きさは三〇cm×五〇cmで、山側に排水溝を設けています。これに対し上側では、両側に比較的大きめの石を立て、その中に充填したように小さな石が配石されています。

いずれも歩行部分に雨水などが集まらない工夫となっています。

